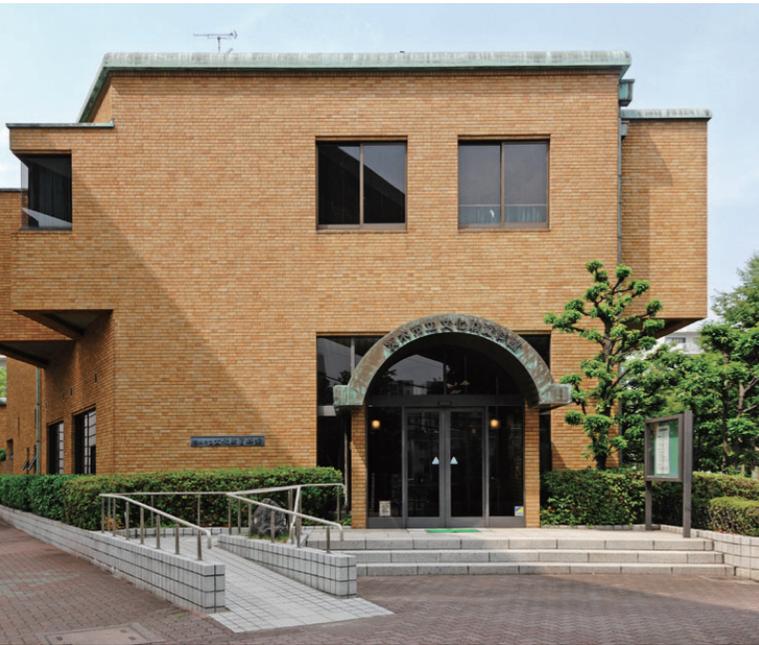




茨木から世界へ 誇るべき歴史文化

古墳や史跡など貴重な歴史文化財が数多く残る茨木市。
日本人初のノーベル文学賞作家、川端康成は3歳から18歳までこの地で暮らし、
豊かな文化の薫りにふれ感性を磨きました。



郷土愛を育てる場

まちの歴史・文化に触れる

茨木市立文化財資料館

東奈良遺跡で発掘された弥生時代の資料を中心に、旧石器時代から現代まで時代に沿って展示しています。また、年に1回のテーマ展のほか、企画展や郷土の歴史を知ることのできる講座などを開催しています。

銅鐸の鋳型 (国指定重要文化財)

弥生時代の大集落とされる東奈良遺跡から出土。完全な形で残っている国内唯一の石の鋳型です。



郷土史料室

令和4年(2022年)3月に開室。市史編さん過程で収集した、古文書等の史料や歴史関係の図書を閲覧できます。



日本人初の ノーベル文学賞作家の原点



名誉市民 川端 康成

川端康成は、3歳から18歳まで茨木市で暮らし、旧制茨木中学校(現府立茨木高校)在学時に、作家を志しました。昭和43年(1968年)に日本人として初めてノーベル文学賞を受賞。茨木市は氏の業績をたたえ、「茨木市名誉市民」の称号を贈りました。代表作には、「伊豆の踊子」や「雪国」などがあります。



茨木市についてつづった「私のふるさと」の直筆原稿



直筆墨書「雪国」冒頭

茨木市立川端康成文学館

小・中学校時代の資料、直筆原稿、書簡、墨書などを展示。企画展やテーマ展のほか、川端作品や近現代文学に親しむ講座を開催しています。また、館内の書齋再現スペースでは、作家体験もできます。



葬式の名人



川端康成の名作群をモチーフに、オール茨木ロケで撮影、令和元年(2019年)9月に全国公開された映画「葬式の名人」(前田敦子・高良健吾主演)。制作にあたってはクラウドファンディングを実施するなど、多くの方々に応援いただきました。



富士正晴記念館(茨木市立中央図書館併設)

詩人・小説家の富士正晴氏が生前に収集した文学資料や自作の絵画などを展示。実際に使っていた書齋が復元されています。

富士正晴

徳島県三好郡生まれ。同人誌「VIKING」を創刊し、司馬遼太郎など多くの著名文学者と交流した詩人、小説家。茨木市安威の竹林に暮らしていたことから、「竹林の隠者」と称されていました。



祈りの聖地

守り伝える



茨木市立キリシタン遺物史料館

隠れキリシタンの里として知られる千提寺・下音羽地区から発見された貴重な遺物を展示しています。キリシタン大名、高山右近の領地であったことから、この地にキリスト教が布教されたと考えられています。



歴史の教科書でおなじみ聖フランシスコ・ザビエル像(国指定重要文化財・神戸市立博物館蔵)



マリア十五女義団(府指定文化財)

江戸情緒

色濃く残る

郡山宿本陣(国史跡)

交通の要衝、西国街道にある郡山宿本陣は、忠臣蔵の赤穂藩主・浅野内匠頭ら参勤交代の大名が多数宿泊したことで知られます。正門の椿が見事な花を咲かせることから椿の本陣と言われています。



上段の間



元茨木川緑地の桜



総持寺庖丁式



茨木音楽祭



春

桜舞いバラが咲き誇り
華やかな花々が出迎える

3月

3月下旬～4月上旬 元茨木川緑地の桜が見ごろ

4月

18日 総持寺庖丁式

5月

上旬 茨木音楽祭
上旬～6月上旬 若園公園のバラが見ごろ



響き合う

9月

中旬 いも掘り園開園
中旬 茨木麦音フェスト

10月

中旬 黒井の清水大茶会
下旬～11月中旬 若園公園のバラが見ごろ

11月

中旬 農業祭
環境フェア

秋

実り豊かな恵みを味わい
文化に魅せられる



若園公園のバラ



茨木麦音フェスト



黒井の清水大茶会



茨木辯天花火大会



見山地区のあじさい



茨木フェスティバル

夏

活気ある祭りと
大輪の花に心躍る

6月

下旬 見山地区のあじさいが見ごろ

7月

下旬 茨木フェスティバル

8月

8日 茨木辯天花火大会

12月

上旬～1月中旬 いばらぎイルミフェスタ灯(AKARI)

1月

上旬 消防出初式
上旬～中旬 20歳(はたち)のつどい
9～11日 茨木十日戎

2月

冬

心ときめく光に笑顔
新たな年を喜びあう



いばらぎイルミフェスタ灯(AKARI)



消防出初式



20歳(はたち)のつどい



茨木十日戎

彩時記